この勉強会ではサーバーサイド JavaScript として注目を集めている Node.js について学んでいきます。それにあたっての初期時の環境構築をここに手順書としてここにまとめてあります。ここに記載されているのは新しい安定バージョンのため、ほかにも新しいバージョンがリリースされている可能性があります。

Node.js 環境構築

- 1. 使用する環境
- **2. Vmplayer** のインストールと **Centos** の設定
 - 2.1 Vmplayer のインストール
- **3** Node.js 環境構築

Oliver Huang 2013 Oct. 03

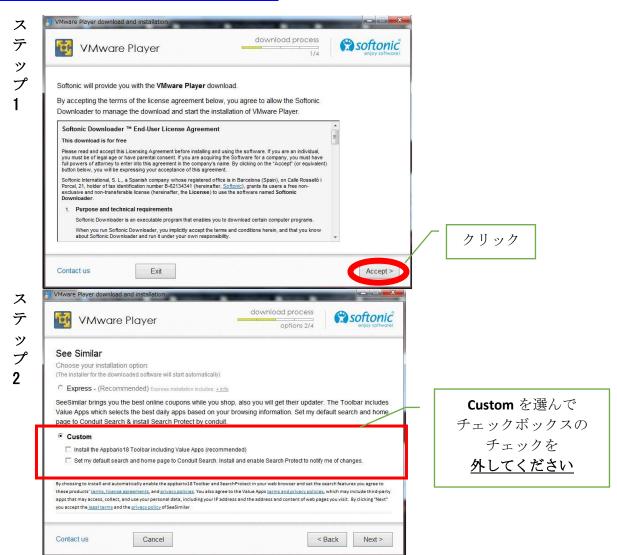
- 1. 使用する環境
 - vmplayer
 - CentOS 6.4 64bit 版

14 卒の共有フォルダーに vmplayer (インストーラー)と CentOS6.4 が入ってます。 \\ameba\ameba\Division\新規開発局\人事\新卒採用\新卒採用 2013 年\99-育成\99_内定者アルバイト\00.教材\42 Node 勉強会\Intro_事前準備

- 2. VMPLAYER のインストール
 - **1.1** 記のフォルダーに入っている **vmplayer** は **Softnic** 社のダウンローダです。 以下の手順で **vmplayer** をインストールしてください。

(VMWARE のウェブからはこちらを参照してください

http://www.websec-room.com/2013/03/26/767)





後はインストールが勝手に始まります。

3 Node.js 環境構築

CentOS インストール後、以下の設定を行います。

※(#)ルートユーザーになってください

```
# vi /etc/sysnconfig/selinux

SELINUX=disabled ←に変える

# iptables –F

# service iptables save

# reboot
```

一回リブートして、以下のコマンドでチェックしてみてください。

```
# getenforce
結果=>disable
# iptables -L
結果=>all accept
# ifconfig ←IP アドレスなどコンフィグの設定内容表示
```

※ethO に IP がセットされてなかったら以下の設定をしてください

vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0 $^{\circ}$ ONBOOT="yes", BOOTPROTO="dhcp" $^{\circ}$ Reboot!!

引き続き設定していきましょう。

yum install wget make vim # vi ~/.bashrc alias vi='vim' ※Vim 使います^^

Node をインストールためのパッケージ

yum install git gcc-c++ openssl-develop

※一般ユーザーを追加したい場合は、以下のコマンドで追加してください。

useradd [username]
passwd [username]
New Password: [password]
Renter the Password: [password]

Node のインストール

//nave を git リポジトリから取得 \$ git clone git://github.com/isaacs/nave.git .nave //カレントを変更して安定版をインストール \$ cd .nave \$./nave.sh install 0.10.17 //指定した Node を使用 \$./nave.sh use 0.10.17 //開発時に便利なモジュールを一応 \$ npm install node-dev -g

問題がなければ、これで終了!!! お疲れ様です。

Hello Node!!

それじゃ実際に、ソースコードを書いてみよう!!

```
//好きなとこに Directory 作ってね

$ mkdir ~/node-work

$ cd ~/node-work

$ vi hello_node.js

var httpd = require('http').createServer(function(req, res), {

    res.setHeader('Content-Type', 'text/plain');

    res.write('Hello, Node!');

    res.end();

});

httpd.listen(8080);

$ node hello_node.js
```